ベトナムと岡山の架け橋

日本一ベトナム人と幸せに暮らせる岡山を目指す「IPUカルチャー」

IPU環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト

経済経営学部 現代経営学科 扇野ゼミ所属3年 ／ 田中 万智・文田 夏帆

取組の背景

岡山県内の在留外国人数

2023年12月末現在 **35,928人**

前年末に比べ3,886人増加し

過去最多

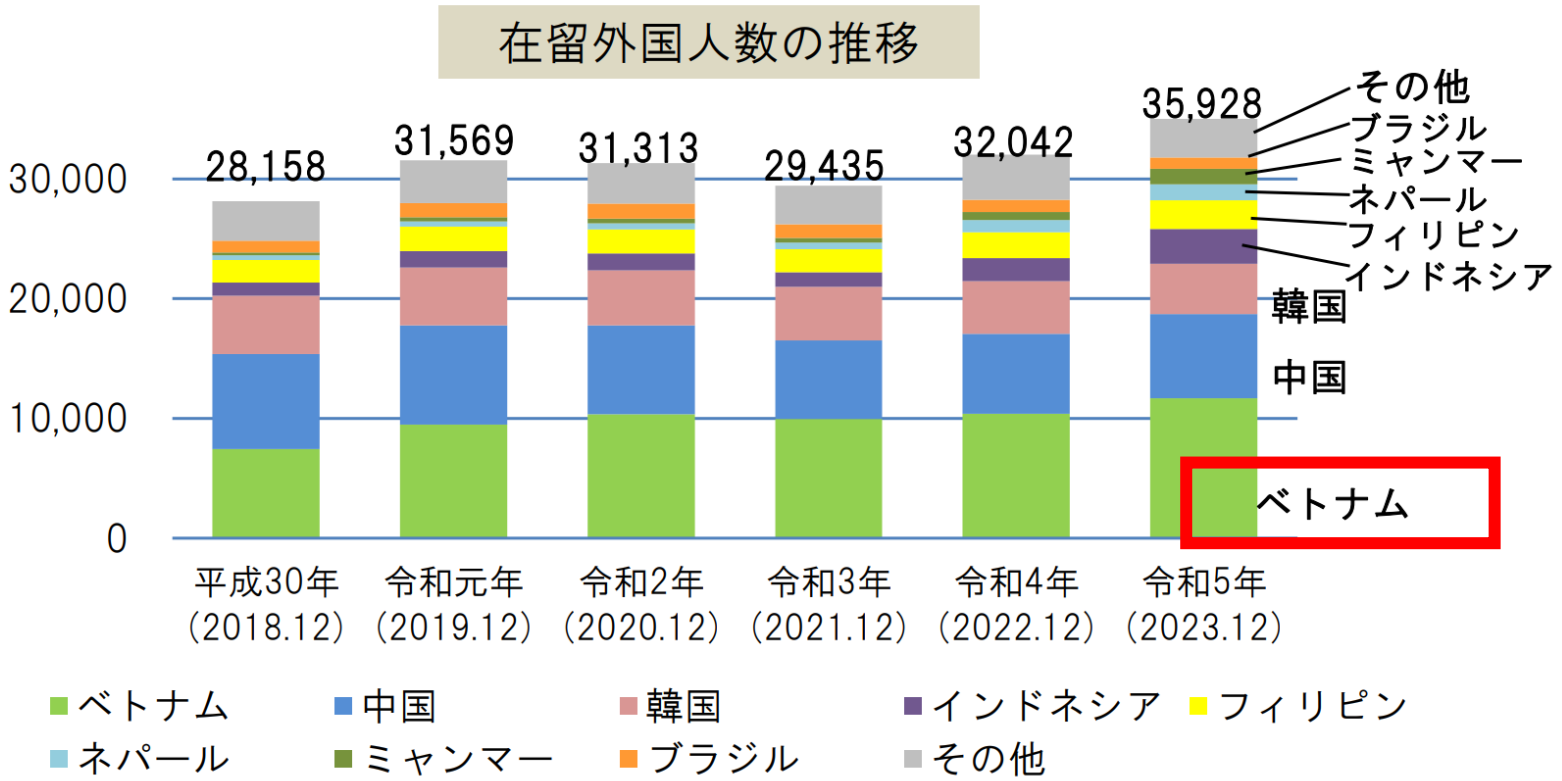
ベトナムが2019年以降

中国を抜き最多

環太平洋大学

14か国の留学生

ベトナム人の割合が最多



出典：岡山県ホームページ
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/928196_8889116_misc.pdf

取組の背景

全国の在留外国人数3,410,992人のうち

岡山県には
たったの約1.1%しかいない

出典：岡山県ホームページ
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/928196_8889116_misc.pdf

取組の背景

2023年に国家ブランド指数世界一

2022 Rank	2023 Rank	NBI	2022 Score	2023 Score
2	**1**	Japan	69.53	**69.85**
1	**2**	Germany	69.80	**69.43**
3	**3**	Canada	69.52	**68.91**
6	**4**	United Kingdom	69.13	**68.80**
4	**5**	Italy	69.26	**68.69**
8	**6**	United States	68.28	**68.43**
7	**7**	Switzerland	68.57	**68.24**
5	**8**	France	69.18	**67.95**

出典：イプソス　国家ブランド指数　https://www.ipsos.com/ja-jp/nation-brands-index-2023

私たちが大好きな岡山に
もっと来て欲しい！

理念体系

IPU INTERNATIONAL PACIFIC UNIVERSITY 環太平洋大学

Purpose

ベトナムと岡山の架け橋になり、
日本で一番ベトナム人が幸せに暮らせる岡山をつくる

Vision

ベトナムと岡山空港の直行便を開通させる

Mission

パートナーシップで交流活動を行う

Value

日本にいるベトナム人のホームシックを無くし、
ベトナムの経済成長と日本の人口問題を解決する

ブランド要素

ネーミング

IPU Culture（アイ・ピー・ユー・カルチャー）

ロゴマーク

日本の国花の桜と菊、ベトナムの蓮、中国のボタン、
ニュージーランドのシルバーファン、
タイのゴールデンシャワーをモチーフに
多様性と一体感を表現

ブランドカラー

ターコイズブルー

（人から束縛されない「自由」「独立」「博愛」という意味）

ベトナム編タグライン

ベトナムと岡山の架け橋

次の時代へつなぐ活動計画

～2030年　　2030年～

持続可能な開発から　　国内総充実へ

SDGs
Sustainable
Development
Goals

GDW
Gross
Domestic
Well-being

フェーズ3　2025年～2030年

日本人と外国人が共存し、
幸せに暮らせる岡山を目指す。

フェーズ2　2024年～

外国人を雇用している企業にキッチンカーで訪問し、
外国人が働きやすい環境をつくる。

フェーズ1　2021年9月～

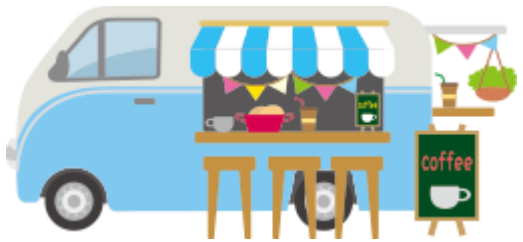
食と体験を通じた異文化交流を深め、
無意識の偏見（アンコンシャスバイアス）を無くす。

BtoBtoEのビジネスプランに挑戦

B
IPUカルチャー

IPU Culture
OKAYAMA-SETO

＋



キッチンカー

B
販売先

ベトナム人を多く採用している
人材不足気味で社員食堂がない岡山市の企業

福利厚生（離職防止）の一環として
朝食時や昼食時に移動販売を実施

E（Employee）
従業員

岡山市内の企業で働いている
ベトナム人

＜悩み＞
ホームシックになりがちで
ベトナムの食べ物を懐かしく思い
地元に帰りたいと思っている。
IPUカルチャーによって
岡山が大好きになっていく。

ウェルビーイング（Well-being）
個人や社会の良い状態

2024年7月31日テストマーケティングを実施

食べやすい「岡山パクチー」の生産者アーチファーム様と製造業のTANIGAWA様、報道関係の皆様と共創

(株)アーチファーム
代表取締役　植田 輝義様

(株) TANIGAWA
代表取締役　谷川 理様

2024年8月25日山陽新聞朝刊に掲載

山陽新聞 2024年

y toY youth youth

岡山で働くベトナム人に古里の味を―。環太平洋大（岡山市東区瀬戸町観音寺）の現代経営学科3、4年生が、ベトナム出身者が働く企業にキッチンカーで出向き、同国の代表的な麺料理フォーを提供するプロジェクトに乗り出した。ベトナム人留学生と日本人学生が協力して運営し「異国での暮らしにほっとできるひとときを届け、岡山に住んで良かったと思ってほしい」と意欲を燃やしている。（中村琢也）

岡山で働くベトナム人へ 「ほっとできるひとときを」

キッチンカー出動

「熱いので気を付けてくださいね」「お好みでレモン果汁をどうぞ」

7月末、学生6人がキッチンカーで岡山市内の金属加工会社を訪れ、ベトナム人約20人を含む従業員約60人に出来たてのフォーを次々と配った。

フォーは鶏がらスープに米粉麺を入れ、鶏胸肉やフライドオニオン、マイルドな岡山県産パクチーをトッピング。あっさりした味わいでベトナム人も日本人も食べやすくした。

10年近く日本に住んでいるというブイ・ティ・トゥオン・ヴィさん(28)は「日本ではあまり食べられないので、職場で味わえてとてもうれしい」と喜んだ。

プロジェクトは大学が6月に導入したキッチンカーを活用し、ビジネスの実践や地域交流を図る活動の一環。ベトナム人留学生が発案し、同国留学生8人を含む22人が携わる。

岡山労働局のまとめでは県内の外国人労働者のうち、ベトナム出身者は約1万1千人（2023年10月末）と国籍別トップで全体の約半数に上る。ベトナム人を雇用する県内企業向けに、ホームシックによる離職を防ぐ福利厚生サービスとして提案し、事業化を目指している。

離職防止サービスとして提案

環太平洋大生、フォー提供

「初出勤」の今回は岡山市の補助事業を活用して無償で試行し、アンケートで改善点を洗い出した。今後は利用企業を募るとともに、文化についてのクイズや民族衣装アオザイの着用など訪問先の社内で交流がより広がるようなサービスメニューも増やしていく予定。県民の理解が広がるよう地域イベントへの出店も検討している。

3年レ・ヴァン・ミン・フィさん(20)は「岡山に住むベトナム人の心の支えになると同時に、両国の相互理解を進め、県内企業でより働きやすくなれば」と期待。「フォーを『おいしかった』と言ってもらえて良かった。日本とベトナムの懸け橋になりたい」と3年田中万智さん(20)は意気込んでいる。

岡山市内の企業に出向いた環太平洋大のキッチンカー。ベトナム人従業員らに学生がフォーを提供した

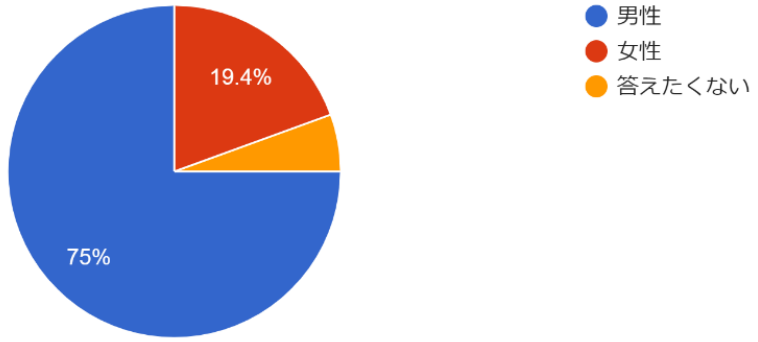
キッチンカーで提供するフォーを手にする環太平洋大生

キッチンカーの中でフォーを作る環太平洋大生

(株)TANIGAWA様アンケート結果

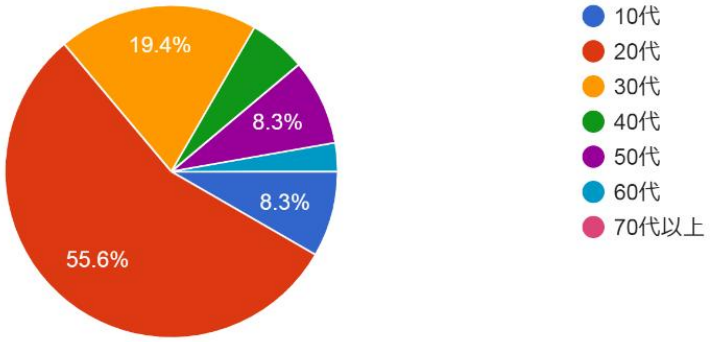
性別

36 件の回答



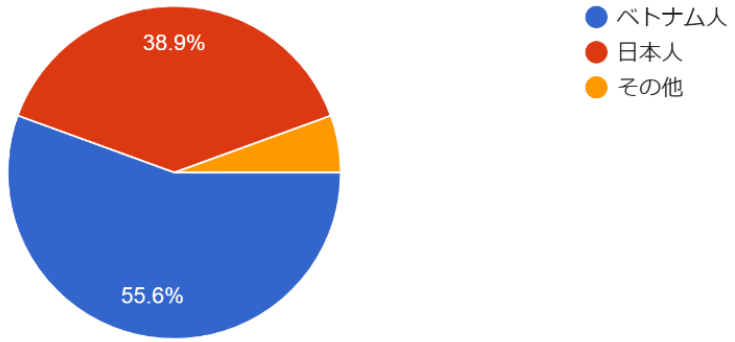
年代

36 件の回答



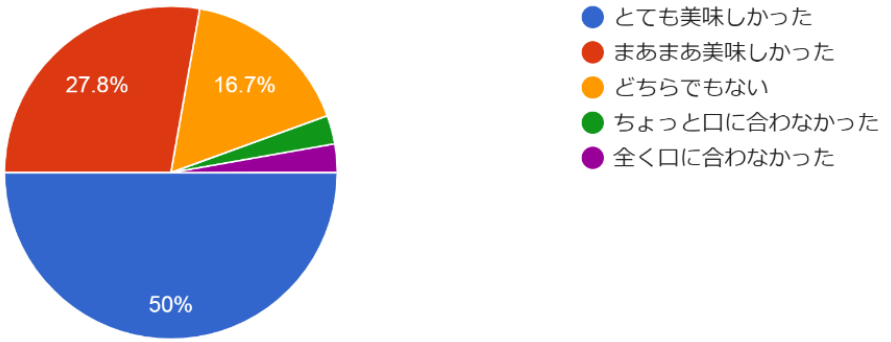
国籍

36 件の回答



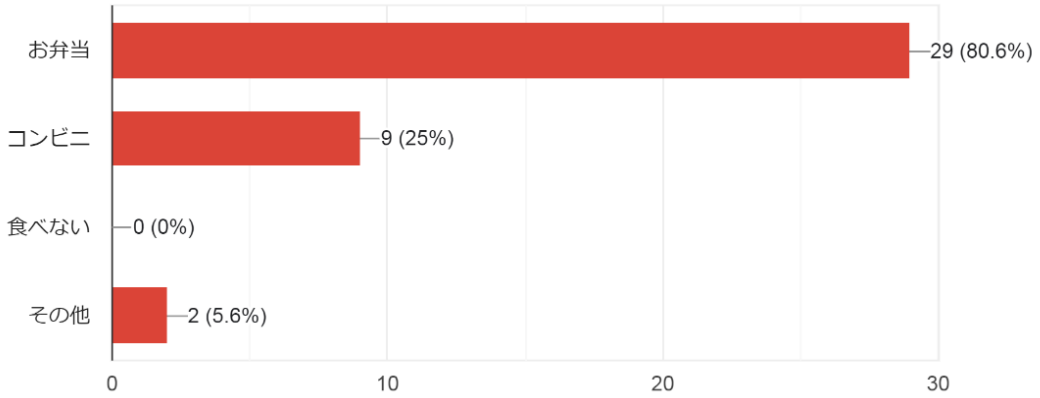
味について

36 件の回答

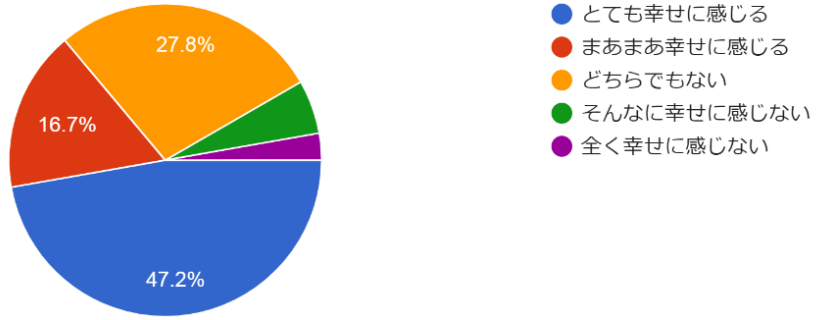


(株)TANIGAWA様アンケート結果

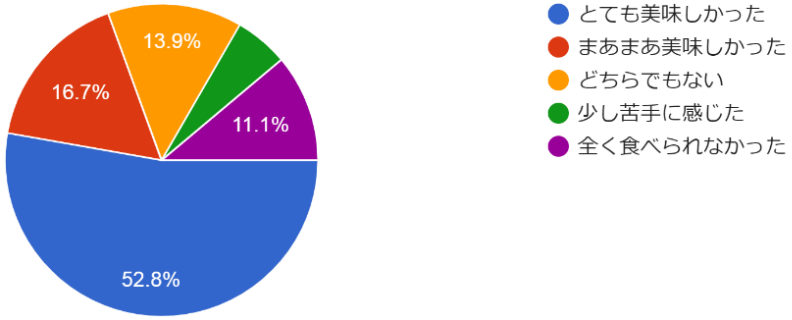
普段の昼食のスタイル
36 件の回答



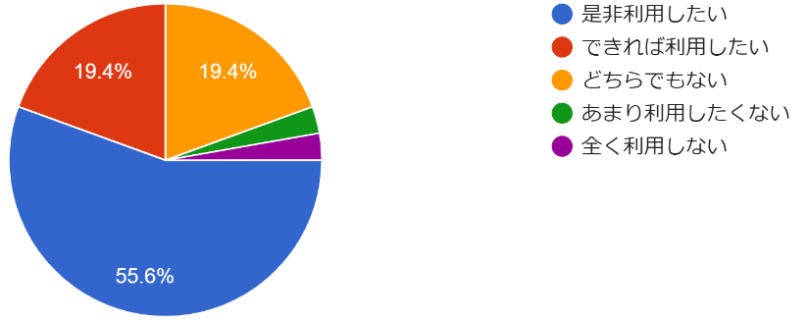
ランチタイムにベトナム料理が食べられることについて
36 件の回答



今回使用した岡山パクチーについて
36 件の回答



次回もこのようなキッチンカーによるベトナム料理の提供があれば
36 件の回答



(株)TANIGAWA様社員さんの感想（抜粋）

仲間のふるさとの文化を体験出来て、良かったです。
仲間との距離感を縮める事が出来ました。感謝します。
今後また機会があったら、よろしくお願いいたします。
料理を提供してくださった学生様、
ありがとうございました。

(株)TANIGAWA様での課題

●スープの**味**が物足りない
→味の改良

●ランチタイムでの**限られた提供時間**でお待たせしてしまった
→生産性と効率化

2024年7月31日KSB瀬戸内海放送にて紹介

出所：KSB瀬戸内海放送youtubeより抜粋　https://www.youtube.com/watch?v=yLhgGVmkFV0

2024年7月　ブランドマネジメントアワードにエントリー

IPU 環太平洋大学

書類審査突破
3年連続ファイナリストを目指す

2022年「IPUジビエ」

2023年度学生イノベーション推進事業

2023年「IPUエシカルアスリート」

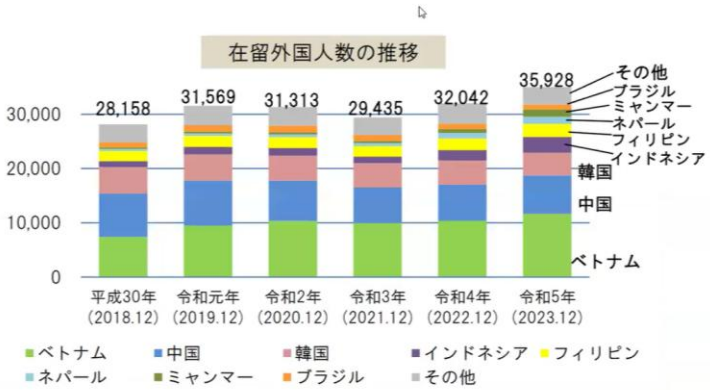
2024年8月8日　動画によるプレゼンで2次審査突破

取組の背景

岡山県内の在留外国人数は、2023年12月末現在 35,928人で、前年末に比べ3,886人増加し、過去最多となっているものの、全国総数3,410,992人の約1.1%にとどまっています。

国籍別では、ベトナムが2019年以降、中国を抜き最多となっています。

環太平洋大学でも、14か国の留学生が学んでいますが、ベトナム人の割合が一番多くなっています。



出所：岡山県ホームページ
https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/928196_8889116_misc.pdf

2024年7月31日　KSB瀬戸内海放送にて紹介

出所：KSB瀬戸内海放送youtubeより抜粋　https://www.youtube.com/watch?v=yLhgGVmkFV0

2024年11月20日　ファイナリストとして登壇

IPU International Pacific University 環太平洋大学

ファイナリスト10組に選ばれ、東京有楽町朝日ホールにてプレゼン
SDGs審査員特別賞受賞

Photo/Tomoya Suzuki

BRAND MANAGEMENT AWARD 2024

SDGs
審査員特別賞

Photo/Tomoya Suzuki

Photo/Tomoya Suzuki

Photo/Tomoya Suzuki

2024年11月～12月にかけて学内外向けイベントに挑戦

フォーを食べたことがない学生や子ども向けに提供し、食を通じてベトナムへの理解が深まる

学生イノベーションチャレンジ推進事業の成果

2024年12月14日　岡山市主催／第9回おかやま協働のまちづくり賞　入賞

2025年3月18日　さん太ホール
岡山信用金庫主催／おかやましんきんSDGsアワード2024「入賞」授賞式

2025年3月28日　ANAクラウンプラザホテル岡山
商工会議所主催／令和6年度おかやま活性化ビジネスプラン大賞「奨励賞」授賞式

2025年1月8日～23日　某テレビ番組の密着取材

IPU INTERNATIONAL PACIFIC UNIVERSITY 環太平洋大学

2025年1月18日に再びTANIGAWA様へ

2025年1月16日
ゼミの時間を使って
スープの改良と試食

フォーの味や作り方について
意見が対立！

ベトナム人留学生と日本人学生

こだわりのベトナム人留学生	譲歩する日本人学生
●スープはたまねぎとショウガをいれて長時間煮込むべき	●生産性、効率性を重視
●薄味が好み	●前回、味が薄いと言われたので濃くしたい ●薄味ではおいしくない
●意見や考えを一切妥協しない	●なるべく譲歩して最適解を見つけたい
●時間に遅れがち ●体調不良でドタキャン、途中で帰宅 ●味覚の表現の言語化が難しい ●予定優先で、片付けをせず帰宅	●時間厳守 ●ドタキャンの穴をみんなで埋める ●スープの素を濃い目にして味を調える ●最後の片付けも担当

「わかる」を「できる」にするために気づいたこと

同じ日本人同士でも、
自分にとっての常識が**他人にとっては非常識**ということがある。

国が異なれば
こだわり、味覚、時間の感覚が**異なるのが当たり前**と捉える。

寛容力を鍛える

理念体系を一部変更

IPU INTERNATIONAL PACIFIC UNIVERSITY 環太平洋大学

Purpose

ベトナムと岡山の架け橋になり、
日本で一番ベトナム人が幸せに暮らせる岡山をつくる

Vision

ベトナムと岡山空港の直行便を開通させる

Mission

パートナーシップで交流活動を行う

Value

日本にいるベトナム人のホームシックを無くし、
ベトナムの経済成長と日本の人口問題を解決する

理念体系を一部変更

IPU INTERNATIONAL PACIFIC UNIVERSITY 環太平洋大学

Purpose

ベトナムと岡山の架け橋になり、
日本で一番ベトナム人と幸せに暮らせる岡山をつくる

Vision

ベトナムと岡山空港の直行便を開通させる

Mission

パートナーシップで交流活動を行う

Value

日本にいるベトナム人のホームシックを無くし、
ベトナムの経済成長と日本の人口問題を解決する

IPU Culture
OKAYAMA-SETO

ご清聴ありがとうございました